

指導事例
高等学校
2年生

男女の生理的・心理的な違いの理解
 男女のお互いの人格の尊重
 自立した男女の人間関係

**「性にかかわる
 意志決定や行動選択」**
 保 健

保健体育

1 / 1 時間
 扱い

1 題 材 名 「性にかかわる意志決定や行動選択」

2 題材について



性にかかわる行動選択

身体的・生理的発達が完成に近付いた高校生は、男女ともに異性への関心が高まる時期である。この時期に性に関する正しい知識を身に付け、それに基づいた適切な意志決定や、責任ある行動選択のための能力や態度を身に付けることが重要である。

しかし、安易な性行動が自分や相手の健康に悪影響を及ぼし、人生を大きく変えてしまうこともある。

自分本位で衝動に駆られた性行動は、絶対にしてはならない認識を確かにさせるため、本題材を設定した。

3 目 標

- (1) 性衝動と性行動及びその男女の特徴について理解させる。
- (2) 異性を尊重する態度を身に付けさせる。
- (3) 性情報の入手とその是非を判断する正しい知識が必要なことを理解し、自分の意志と正しい判断で行動することができるようにする。

4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 情 報 「メディアリテラシー」

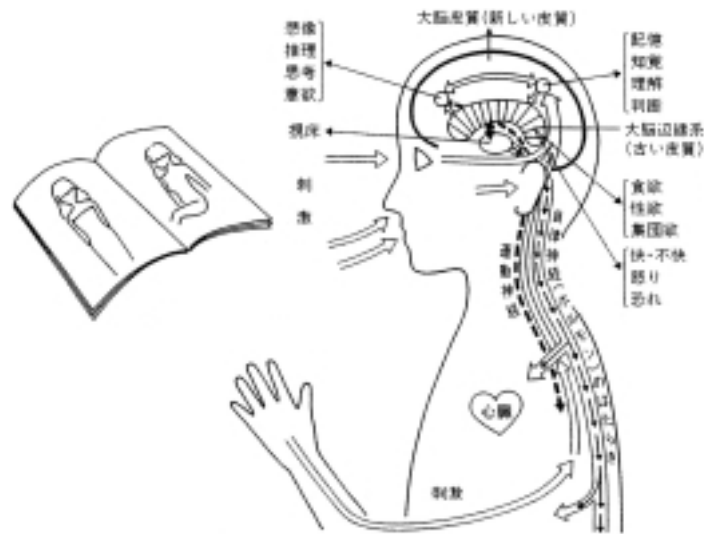
5 指導展開例

	教 師 の か か わ り	子供の思考の流れ・学習活動	留 意 点
導 入	前時の復習 「男女の違いとは」どのようなものがあるのか？ 「思春期になると、なぜ異性への興味・関心が芽生えるのか？」	身体的、精神的特徴などそれぞれ男女で対比させ考える。 いつ頃から異性を意識し始めたのか、初恋はいつ頃なのか？など考え、それがなぜどのようにして芽生えるのかを考える。	・自分の成長と生活を振り返らせながら異性について考える。 ・生徒数人に聞き、結果を簡潔に板書する。
展 開	人は「～したい」とどこで思い、考えるのだろうか？		
	「欲求はどこで起こり、どのように欲求不満を解消させる	欲求の発生源を考え、その解消法を具体例を挙げて発表する。	・大脳皮質の種類と働き、適応機制な

展 開	<p>のだろうか？」</p> <p>性衝動のメカニズムについての説明。</p> <p>「性的欲求には男女や個人によりどのような違いがあるか？」</p> <p>相手が望まない行動をしたり、自分の感情を押し付けたりすることは相手の人権を無視した行為であり、互いの理解と尊重の上に男女間の行動は成立していることを説明。</p> <p>「どこで性情報を得るのか？」</p>	<p>性衝動がどのようにして起こるのか理解する。</p> <p>男女混合のグループを6つ作り、それぞれの中で男女の違いや個人差などについて話し合う。教科書や資料の表を参考に具体的にどのような違いがあるのかを考え、発表する。</p> <p>異性の心や体を理解するとともに、相手の人格や立場、考え方などを尊重した人間関係を築くことが大切であることを理解する。</p> <p>自分の経験や発表がしにくければ資料の表を参考にし、先ほどのグループでどこからの情報が多いのかなど話し合い、発表する。</p>	<p>どについても触れる。(資料1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 性ホルモンや感覚的刺激以外にも自分の学習や経験によって誘発されることを説明し、それには男女差や個人差があることを付け加える。 性的欲求には男女や個人により違いがあることを理解する。グループごとに発表。(資料2) そのためには、異性の理解を深めることが大切であることを強調する。 身の回りの性情報の中には興味本位の情報が多いことに注目する。グループごとに発表。(資料3)
	<p>自分や他人を傷つけないように、性的欲求を統御し、正しい選択ができるようにしなければならないんだ！</p> <p>最近の若者の性犯罪や性の逸脱行為について、「どのような理由で起きているのか？またそうならない為にはどうすべきなのか？」</p>	<p>事例を挙げ、グループごとに考える。シートの手順に従って話し合いながら記入する。</p> <p>誤った性行動をしないようにするにはどうすればよいのかを考え、グループごとに発表する。また、他のグループの意見もしっかりと聞き、自分の考えと比較検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 誤った性行動は、性感染症や望まない妊娠、性的犯罪などに関係することがある。高校生の時期を健康に生活する上では、どのようなことが大切であるかを考える。(資料4)
ま と め			

6 資 料

【資料1】 欲求と行動



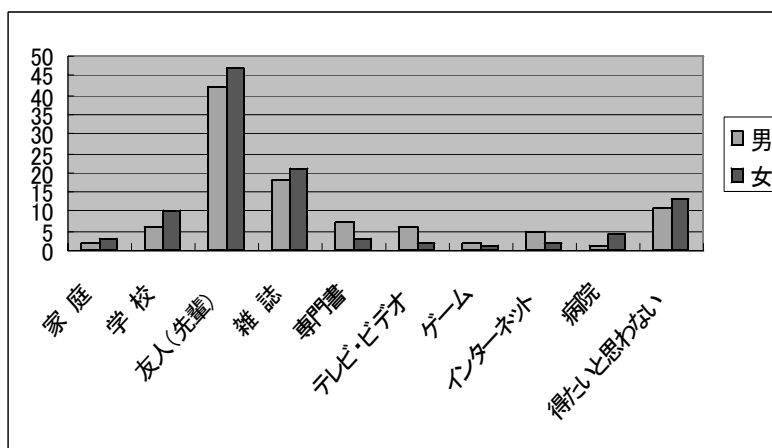
(新訂 性教育の考え方進め方 田能村 祐麒著 学校図書 2005)

【資料2】 経験率が50%を超える年齢

年 齢	男 子	女 子
1 1 歳以前		月 経
1 2 歳		異性と親しくなりたい
1 3 歳	異性と親しくなりたい	
1 4 歳	性的関心 射精 性的興奮	性的関心
1 5 歳	マスターベーション	
1 6 歳		
1 7 歳	デート	デート
1 8 歳	キス	キス
1 9 歳		性的興奮
2 0 歳	性交	
2 1 歳		性交

(学校における性教育の考え方、進め方 文部科学省 ぎょうせい 2005)

【資料3】 性に関する情報をどこで得たか



(現代保健体育 大修館書店 2005)

【資料4】

学 習 シ ー ト

グループNO. _____ メンバー・・・

【事 例】

A子（高校校2年生）は、運動部で活躍し、上位の成績を残した。しかし2学期から髪を染め、パーマをかけたりピアスを付けて登校し、担任の指導に従わず次第に学校を怠けることが多くなった。夜間、他の高校の男女生徒や卒業生と公園やコンビニエンスストアでたむろしたり、繁華街を徘徊するようになった。その間に複数の異性と性行為をするようになった。

仲間と徘徊している内に、いわゆる「援助交際」の話題を聞き、「暇だから」という理由で、不特定多数の男性数人を相手に売春をした。保護者は、A子が高価な物品を身に付けていることを不審に思い、問いただしたところ性の逸脱行為の事実がわかった。保護者は警察に相談し、2年生の2学期末に家庭裁判所にぐ犯送致となった。

【家庭環境】・・・父親は自営業である。そのため、母親は店が忙しい時は夕方から家を留守にし、店を手伝うこともある。保護者は教育熱心で学校に協力的である。2人の兄は保護者の期待道通りに進学した。

【本人の状況】・・・性格は物事にこだわらず思ったことを遠慮なく発言する。人の先に立って行動し活動的でリーダー性がある。

【起こった理由】

【家庭環境はどうだったか？】

【もし、A子が友達だったらどうする？】

【こうならないためには？】